

基本方針

# 4

## 健やかに暮らせる福祉のまちづくり

(保健、医療、福祉)

すべての市民が、住み慣れた地域で自分らしく健やかに暮らすことのできる支え合いのまちづくりを推進します。公民館での住民健診の実施や未受診者への呼び掛け、かかりつけ医の定着促進、医療機関とのネットワーク強化による救急医療体制の充実を図ります。また、多様な保育ニーズに応える子育て支援、高齢者福祉の充実、障がい者への就労支援や施設のバリアフリー化、ひとり親世帯や低所得世帯への支援など、地域共生社会の実現を目指して地域で支え合える体制を整備。公的サービスを充実させ、誰もが安心して生活できるまちづくりを進めます。



①がんの早期発見・早期治療に向け、住民健診を実施。未受診者に対しては更なる働きかけを行っていきます。②認知症・閉じこもり予防の講座なども各地区で開催します。③地域福祉を推進するため、「みやま健康・福祉フェスタ」を開催。市民が福祉について考える機会を提供し、高齢者や障がい者とふれあい交流する機会を創出することで、地域住民がお互いに支え合い助け合えるまちづくりを進めていきます。

●関連するSDGsの目標



●施策項目

- 1 健康づくりの推進
- 2 安心して産み、育てられる子育て支援の推進
- 3 生涯現役のまちづくりの推進
- 4 障がい者がいきいき暮らせる環境づくりの推進
- 5 安心とゆとりのある地域福祉の実現
- 6 ひとり親世帯及び低所得者福祉の充実
- 7 社会保障制度の充実

基本方針

# 2

## 自然を育む安全安心なまちづくり

(環境、エネルギー、防災、消防・救急、交通安全、防犯)

豊かで多様な自然との調和を図りながら、市民に安全・安心のやさしいまちづくりを進めます。生活環境については、生ごみなどの分別による焼却ごみの減少と温室効果ガスの削減を図り、バイオマスセンターを活用した循環型社会の形成に取り組みます。また、エネルギーの地域内循環を進め、環境、経済、社会が共立する持続可能な地域づくりを進めます。防災体制の充実を図るため自主防災組織の育成や効果的な情報伝達手段について検討し、関係機関との連携・協力体制を強化。交通安全や防犯対策として、事故や犯罪被害を防ぐための啓発活動を推進します。



①バイオマスセンター「ルフラン」の稼働により生ごみなどを燃やさずに資源化することで、温室効果ガスを約2,000トン(25%)削減予定。②平成29年に「独自自治体エネルギー会議 in みやま」を開催。ドイツから再生可能エネルギー導入の先進事例を学び、国内外から延べ約500人が参加しました。③交通安全対策の推進のため、事故防止の啓発活動やキャンペーンなどを積極的にを行い、交通安全教室を開催してまいります。

●関連するSDGsの目標



●施策項目

- 1 自然環境の保全
- 2 地域が一体となった循環型社会の形成
- 3 エネルギー政策の推進
- 4 防災対策の推進
- 5 消防・救急体制の充実
- 6 防犯・交通安全対策の推進

●関連するSDGsの目標



●施策項目

- 1 生きる力を育む学校教育の充実
- 2 地域教育力の充実
- 3 生涯学習の推進
- 4 スポーツの振興
- 5 文化・芸術の振興と文化財の保護・活用
- 6 多様な交流の推進

## 豊かなこころを育むまちづくり

(教育、文化・芸術、スポーツ)

基本方針

# 5

①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うなど、知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性などを総合的に育み、豊かな学力を育成します。②「與田準一児童文学まつり」を開催するなど、郷土の文化も大切に継承。③各種スポーツイベントを開催し、将来性を秘めた小学生を見いだして支援することでトップアスリートとして活躍できる可能性を広げる取り組みを推進します。



子どもから高齢者まで、生涯を通じて学び、スポーツや文化とふれあい豊かな感性を育むまちづくりを進めます。学力の向上を目指した計画的な授業を実施し、生きる力を育む学校教育を総合的に推進します。地域や家庭と連携した開かれた教育環境づくりや、地域教育力の充実に努めます。活力ある図書館の運営や、住民主体の活動を促進して、生涯学習の充実を図るほか、市民がスポーツに携わる機会も拡充させます。伝統文化や郷土の歴史の保護・継承を支援し、文化財等のPRも検討。さまざまな世代間の交流や姉妹都市との交流、国際交流も促進します。

●関連するSDGsの目標



●施策項目

- 1 農林水産業の振興
- 2 商工業の振興
- 3 企業誘致の推進
- 4 観光の振興

## 地域の特色を生かした活力あるまちづくり

(産業、企業誘致)

基本方針

# 3

①「安全・安心・おいしい」みやまの農産物を生かし、地元食材を通じた食育の充実など、地産地消につなげる取り組みを進めます。②みやまの農産物を原材料とした加工品の開発・製造や直売、販路開拓、レストラン提供など一体的な取り組みにより、6次産業化を推進します。③都市と農村の相互理解を深め、「人・もの・情報」の行き来を活発にするため、清水山荘を中心に農業体験など滞在型の活動を推進します。



豊かな自然や農業、自然エネルギーなど本市の特色を生かして、地域経済の活性化を図ります。農業生産基盤の整備、後継者や新規就農者の確保に向けた取り組みを推進し、特産品を使用した加工品づくり、ブランド化を進め、知名度の向上を図ります。水産業においては生産量の維持に向けた方法を検討してまいります。商店街の賑わい創出や、コンパクトなまちづくりなど、魅力的なまちづくりを目指し、企業誘致活動の推進や起業支援などにも取り組んでいきます。また、本市ならではの体験プログラムの開催や積極的なPRなど、戦略的な観光振興を図ります。